



撮影機材管理アプリの提案

提案先: 内田様

提案者: 岡崎、カトリ、早川、金子

提案日: 2022 年 5 月 6 日

目的と背景

コロナ禍により、課外活動に制限が設けられる中、東京電機大学二部写真部では、カメラやレンズなどの備品の管理が難しくなっています。本来適正に管理がされていれば、コロナ禍においても備品を部員に貸し出すことにより、活動を続けることができますが、どこにどの備品があって誰が何を使用しているのかを把握する事が難しいため、管理を行う側も借りる側も、部室の備品の利用を避けている現状があります。また、カメラとレンズには適切な組み合わせが合ったり、機材によって取れる写真の画角や明るさが大きく異なります。当該部においてはいわゆるカメラ初心者も多く在籍するため、そういった層へのケアも大きな課題となっています。こういった事態を解決する方法として、「撮影機材管理アプリ」の作成をすることを企画させていただきます。

ターゲット

撮影機材を複数人に対して貸し出している企業やコミュニティ

ターゲットとして想定するユーザーは以下の通りである。

- 管理者 → 撮影機材を管理したいコミュニティの管理者
 - 一般ユーザ → 撮影機材を借りたいユーザー
-

前提課題

管理者

1. コミュニティ内の撮影機材や備品が紛失してしまう。
2. 機材をどの(一般)ユーザが利用しているかを把握することが難しい。
→ 機材の保管場所で直接確認することしかできない。
3. 人気の機材を把握することが難しく、効率的な機材補強が難しい。

一般ユーザ

1. 撮影機材や備品が保管場所(オフィスや倉庫、部室)のどこに保管されているのか、どこで利用できるのかが分からない。
2. 利用したい機材を他の誰かが利用している場合、いつ利用できるようになるかが分からない。また機材の予約ができない。
3. 利用できる撮影機材や備品のユースケースが分からない。
4. 撮影機材の互換性が分からない(使用したいカメラのボディとレンズの互換性があるかが分からない)

本企画のゴール

撮影機材や備品の適切な管理を通して、コミュニティ内の活動を活性化させる。

管理者

- 本アプリを介して、撮影機材や備品の利用状況、貸し出し状況をリアルタイムで確認し、適切に管理を行える。

一般ユーザ

- 本アプリを介して、撮影機材や備品の利用方法、活用方法、借用方法を確認する事ができ、機材の予約が行える。

技術仕様

本アプリケーションはWebアプリケーションとして開発を行い、Webサーバーで動作することを想定する。そのためAWSやGCPなどのクラウドサービス上でのホスティングのほか、自社や自団体のサーバー上でのホスティングもサポートする。また、エンドユーザは各自の端末からWebブラウザを用いて、管理画面へアクセスすることを想定する。

技術スタック

カテゴリー	技術スタック
開発言語/フレームワーク	Frontend HTML, CSS, JavaScript, Vue.js, Nuxt
	Backend Python, Flask
データベース	PostgreSQL
開発環境構築	Docker
インフラ	AWS または自社のサーバー
CI	GitHub Actions
コード管理	GitHub

開発フロー

Frontend

- 1. ワイヤーフレーム作成
- 2. 開発環境構築
- 3. フロント実装
- 4. UIテスト
- 5. 統合テスト
- 6. デプロイ

Backend

- 1. 開発環境構築
- 2. データベーステーブル設計
- 3. API実装
- 4. APIテスト
- 5. 統合テスト
- 6. デプロイ

開発スケジュール

月	内容
4月	kickoff
5月	仕様決め(テーブル設計、API設計)、開発環境構築、個人のスキルアップ
6月	開発環境構築、個人のスキルアップ
7月	APIの実装、個人のスキルアップ、ワイヤーフレーム、中間発表
8月	テスト、個人のスキルアップ、ワイヤーフレーム
9月	フロントエンド実装開始
10月	フロントエンド実装
11月	フロントエンド実装完了、統合テスト
12月	最終発表

担当

名前	内容
早川	MP(工程管理)
	フロントエンド
	バックエンド
岡崎	デザイン
	フロントエンド
カトリ	CI・CD
	バックエンド
	フロントエンド
金子	データベース
	バックエンド
